

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月13日

上場会社名 株式会社 音通 上場取引所 大
 コード番号 7647 URL <http://www.ontsu.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡村 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役副社長 (氏名)仲川 進 TEL (06)6368-9100
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第1四半期 | 4,886 | △7.1 | 76 | △14.1 | 44 | △17.7 | 63 | 609.5 |
| 22年3月期第1四半期 | 5,260 | △24.9 | 89 | 34.6 | 54 | 21.7 | 8 | △77.9 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|----|----------------------------|----|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 0 | 34 | 0 | 0 |
| 22年3月期第1四半期 | 0 | 05 | 0 | 05 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|--|-------|--|--------|----|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 23年3月期第1四半期 | 12,399 | | 3,282 | | 25.5 | 17 | 09 | |
| 22年3月期 | 11,673 | | 3,246 | | 26.9 | 16 | 95 | |

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 3,163百万円 22年3月期 3,137百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | |
|------------|--------|--------|--------|----|----|----|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 22年3月期 | — | — | 0 | 23 | — | — |
| 23年3月期 | — | — | — | — | 0 | 23 |
| 23年3月期(予想) | — | — | 0 | 23 | — | — |
| | | | | | 0 | 23 |
| | | | | | 0 | 46 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-----------|--------|------|------|------|------|-------|-------|-------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 第2四半期(累計) | 10,105 | △2.5 | 156 | 9.3 | 88 | 8.5 | 51 | 361.0 | 0 | 28 |
| 通期 | 20,337 | △1.2 | 351 | 52.4 | 217 | 129.9 | 126 | — | 0 | 68 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社（—）、除外 一社（—）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 23年3月期1Q | 185,876,645株 | 22年3月期 | 185,876,645株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 23年3月期1Q | 772,203株 | 22年3月期 | 772,203株 |
|----------|----------|--------|----------|

③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 23年3月期1Q | 185,104,422株 | 22年3月期1Q | 184,891,871株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. その他の情報 | 5 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 5 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 5 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日～平成22年6月30日）におけるわが国の経済は、輸出を中心とした穏やかな増加やエコ家電購入支援等の経済政策の効果などにより、景気は持ち直してきておりますが、一方、金融市場の変動やデフレの影響、さらには雇用情勢の悪化懸念等で経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

こうした環境の中、当社グループにおきましては、消費者のニーズを追求し、低価格商品の開発や商品内容の充実、タイムリーに商品が提供できるよう、グループの経営基盤の強化を進めてまいりましたが、依然として、同業他社との競争激化、消費者の買控え等で非常に厳しい状況が続いております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①食料品・生活雑貨小売事業

当事業部門は、食料品・雑貨を中心とした総合100円ショップ「FLET'S」を直営店舗40店舗、FC店舗4店舗、「百圓領事館」は直営店舗33店舗、FC店舗3店舗、食品スーパー「Fマート」を直営店舗9店舗の合計89店舗を運営しております。

当第1四半期連結会計期間での新規店舗は、「百圓領事館」の今津店（兵庫県西宮市）、フレッツ服部店（大阪府豊中市）、フレッツ尼崎浜田店（兵庫県尼崎市）、及びフレッツ北鈴蘭台店（神戸市北区）の4店舗を新規オープンし、また、Fマート惣社店（大阪府藤井寺市）を100円均一ショップ「Fマート100」に業態変更しております。

均一ショップにおきましては、競争激化の厳しい中、立地性を吟味し、食品の扱いを既存店舗より増やし、圧倒的な品揃えの食品を武器として、来店頻度を高める等の努力、粗利益の確保に注力し、また、同時に経費削減・効率化についても引き続き努力を継続した結果、売上高は39億7千5百万円、営業利益4千2百万円となりました。

②カラオケ関係事業

当事業部門は、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸、卸販売事業を中核事業として運営しておりますが、ナイト市場における厳しい状況が続いているものの、M&Aによる機器管理台数の増加及び卸販売事業における液晶TV等の周辺商材の宿泊施設への販売やレンタルの販路拡大、不動産業者、ビル管理業者に対する営業の強化とエリア戦略における効率化を図り好調に推移しております。一方、業務用ゲーム機器賃貸等事業におきましては、同業他社等の競争激化で売上高が減少いたしました。部門の売上高は6億8千4百万円、営業利益4千5百万円となりました。

③スポーツ事業

当事業部門は、スポーツクラブ「JOYFIT」3店舗、ホットヨガ「LAVA」1店舗を運営しております。売上高は1億1千4百万円となり、当第1四半期連結会計期間は、前期と引き続きスタジオプログラムの大幅な見直しや自社スタッフの教育やレベルの向上及び営業時間の見直し等を実施し、外注比率や費用の抑制を図った結果、営業利益2百万円となりました。

④IP事業

当事業部門は、賃貸店舗や賃貸住宅の家賃収入、コインパーキングの新設1ヶ所を含む18ヶ所の売上により、売上高は1億1千3百万円、営業利益7百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は48億8千6百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。営業利益7千6百万円（前年同四半期比14.1%減）、経常利益4千4百万円（前年同四半期比17.7%減）、四半期純利益6千3百万円（前年同四半期比609.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて22.5%増加し、41億4千万円となりました。これは、現金及び預金が4億8千1百万円、商品が1億3千6百万円、短期貸付金が8千万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、81億9千9百万円となりました。これは、賃貸資産が3千万円、投資有価証券が1千万円、繰延税金資産が1千8百万円増加し、のれんが4千1百万円、建設協力金が2千万円、長期前払費用が2千6百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%増加し、123億9千9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.4%増加し、53億4千万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1億9百万円、短期借入金が3億9千5百万円、1年内償還予定の社債が3千2百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が3千2百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、37億7千6百万円となりました。これは、社債が4千1百万円、長期割賦未払金が1千1百万円、長期借入金が6千万円、資産除去債務が4千5百万円増加し、長期未払金が2千3百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8.2%増加し、91億1千7百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.1%増加し、32億8千2百万円となりました。これは、少数株主持分が8百万円、その他有価証券評価差額金が5百万円、利益剰余金が2千万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、14億1千9百万円となり、前連結会計年度末と比べて51.9%の増加となりました。

当四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1億9千4百万円（前年同四半期比13.3%減）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益2千9百万円、減価償却費1億3千2百万円、のれんの償却額4千1百万円、仕入債務の減少額1億9百万円、法人税の還付額2千4百万円であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額1億3千6百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は1億4千万円(前年同四半期△1億4千4百万円)となりました。主なプラス要因は、定期預金の払戻による収入1千万円、長期貸付金の回収による収入1千1百万円、建設協力金の回収による収入1千9百万円等であり、主なマイナス要因は、定期預金の預入による支出6百万円、有形固定資産の取得による支出7千9百万円、短期貸付けによる支出8千5百万円等でありま

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は4億3千1百万円(前年同四半期比101.2%増)となりました。主なプラス要因は、短期借入れによる収入7億4千2百万円、社債の発行による収入9千7百万円、長期借入れによる収入4億円等であり、主なマイナス要因は、短期借入金の返済による支出3億4千6百万円、長期借入金の返済による支出3億6千9百万円、社債の償還による支出2千6百万円、割賦債務の返済による支払による支出1千9百万円、配当金の支払額4千2百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成22年5月13日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ①一般債権の貸倒見積高の算定につきましては、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を適用しております。
- ②繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを適用しております。
- ③棚卸資産の評価につきましては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法を適用しております。
また、棚卸資産の簿価切下げにつきましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ759千円減少し、税金等調整前四半期純利益は15,022千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は45,507千円です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|-------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,715,697 | 1,234,648 |
| 受取手形及び売掛金 | 398,035 | 389,974 |
| 商品 | 1,589,757 | 1,453,186 |
| 前払費用 | 217,546 | 191,042 |
| 繰延税金資産 | 6,424 | 4,406 |
| その他 | 215,974 | 110,081 |
| 貸倒引当金 | △3,255 | △2,990 |
| 流動資産合計 | 4,140,182 | 3,380,351 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 貸貸資産(純額) | 1,227,968 | 1,197,134 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,042,934 | 2,054,207 |
| 土地 | 875,089 | 875,089 |
| その他(純額) | 244,213 | 237,682 |
| 有形固定資産合計 | 4,390,206 | 4,364,113 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 490,047 | 531,364 |
| その他 | 17,713 | 19,182 |
| 無形固定資産合計 | 507,761 | 550,546 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 206,448 | 196,322 |
| 建設協力金 | 878,819 | 898,939 |
| 差入保証金 | 1,602,801 | 1,594,203 |
| 繰延税金資産 | 298,241 | 279,500 |
| その他 | 346,323 | 378,775 |
| 貸倒引当金 | △31,194 | △31,194 |
| 投資その他の資産合計 | 3,301,439 | 3,316,546 |
| 固定資産合計 | 8,199,407 | 8,231,206 |
| 繰延資産 | 60,006 | 62,194 |
| 資産合計 | 12,399,595 | 11,673,752 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,818,763 | 1,709,428 |
| 短期借入金 | 666,773 | 271,481 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,525,979 | 1,558,396 |
| 1年内償還予定の社債 | 789,400 | 757,400 |
| 未払法人税等 | 25,122 | 19,461 |
| 繰延税金負債 | — | 2,592 |
| その他 | 514,538 | 473,830 |
| 流動負債合計 | 5,340,577 | 4,792,591 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,711,200 | 1,669,900 |
| 長期借入金 | 1,489,208 | 1,428,434 |
| 退職給付引当金 | 45,562 | 42,401 |
| 資産除去債務 | 45,753 | — |
| その他 | 485,240 | 493,779 |
| 固定負債合計 | 3,776,964 | 3,634,514 |
| 負債合計 | 9,117,541 | 8,427,106 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,456,678 | 1,456,678 |
| 資本剰余金 | 1,498,985 | 1,498,985 |
| 利益剰余金 | 248,812 | 228,353 |
| 自己株式 | △37,448 | △37,448 |
| 株主資本合計 | 3,167,027 | 3,146,568 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4,002 | △9,077 |
| 評価・換算差額等合計 | △4,002 | △9,077 |
| 新株予約権 | 16,770 | 15,431 |
| 少数株主持分 | 102,257 | 93,724 |
| 純資産合計 | 3,282,053 | 3,246,646 |
| 負債純資産合計 | 12,399,595 | 11,673,752 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 5,260,632 | 4,886,914 |
| 売上原価 | 3,835,473 | 3,519,031 |
| 売上総利益 | 1,425,158 | 1,367,882 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,335,958 | 1,291,231 |
| 営業利益 | 89,199 | 76,651 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,814 | 6,847 |
| その他 | 4,905 | 6,052 |
| 営業外収益合計 | 12,720 | 12,900 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 29,157 | 26,721 |
| 持分法による投資損失 | 2,738 | 293 |
| その他 | 15,944 | 18,012 |
| 営業外費用合計 | 47,840 | 45,026 |
| 経常利益 | 54,078 | 44,525 |
| 特別損失 | | |
| 店舗閉鎖損失 | 4,446 | 418 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 14,263 |
| 特別損失合計 | 4,446 | 14,682 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 49,632 | 29,843 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 27,007 | 7,351 |
| 過年度法人税等 | 5,991 | △22,198 |
| 法人税等調整額 | 966 | △26,876 |
| 法人税等合計 | 33,965 | △41,723 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 71,566 |
| 少数株主利益 | 6,782 | 8,533 |
| 四半期純利益 | 8,884 | 63,033 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 49,632 | 29,843 |
| 減価償却費 | 122,529 | 132,471 |
| のれん償却額 | 44,678 | 41,316 |
| 株式交付費償却 | 527 | 544 |
| 社債発行費償却 | 1,991 | 3,808 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △503 | 264 |
| 投資有価証券受贈益 | — | △1,820 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 14,263 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 945 | 3,161 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8,498 | △7,542 |
| 支払利息 | 29,157 | 26,721 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 2,738 | 293 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 18,081 | △8,060 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △111,991 | △136,427 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 160,459 | 109,335 |
| 店舗閉鎖損失 | 4,446 | 418 |
| その他の資産・負債の増減額 | 15,952 | △28,433 |
| 小計 | 330,145 | 180,159 |
| 利息及び配当金の受取額 | 8,321 | 7,448 |
| 利息の支払額 | △16,326 | △17,629 |
| 法人税等の還付額 | — | 24,665 |
| 法人税等の支払額 | △97,748 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 224,392 | 194,643 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 11,041 | 10,000 |
| 定期預金の預入による支出 | △125,726 | △6,043 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △56,829 | △79,096 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,386 | 605 |
| 短期貸付金の回収による収入 | 613 | 432 |
| 短期貸付けによる支出 | — | △85,000 |
| 長期貸付けによる支出 | △900 | △900 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 10,391 | 11,255 |
| 建設協力金の回収による収入 | 19,852 | 19,588 |
| 差入保証金の差入による支出 | △8,008 | △9,975 |
| 差入保証金の回収による収入 | 900 | 900 |
| 預り保証金の受入による収入 | 1,989 | 50 |
| 預り保証金の返還による支出 | △1,526 | △2,420 |
| その他 | — | △63 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △144,815 | △140,666 |

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 950,000 | 742,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △495,729 | △346,708 |
| 長期借入れによる収入 | — | 400,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △376,494 | △369,892 |
| 社債の発行による収入 | 194,431 | 97,850 |
| 社債の償還による支出 | — | △26,700 |
| 割賦債務の返済による支出 | △13,971 | △19,358 |
| リース債務の返済による支出 | △1,835 | △3,573 |
| 株式の発行による収入 | 437 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △129 | — |
| 配当金の支払額 | △42,524 | △42,573 |
| その他 | — | △15 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 214,185 | 431,027 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 293,762 | 485,005 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,008,255 | 934,334 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,302,018 | 1,419,339 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。